

看護師国家試験

八学大 61人全員合格

今年の第111回看護師国家試験で、八戸学院大（水野眞佐夫学長）の看護学科から受験した61人全員が合格を果たした。合格率100%は開学以来初の快挙で、保健師の国家試験も8人全員がパスした。同大は「一回勝負の試験で全員合格するのは難しい。学生と教員がワンチームで取り組んだ成果だ」と喜んでいる。厚生労働省によると、国家試験の合格率は看護師91・3%、保健師89・3%。同大では3年次から受験



国家資格全員合格を喜ぶ八戸学院大看護学科の（左から）高橋雪子学科長、市澤孝子さん、木村緑准教授

開学以来初、保健師も8人全員

対策講座を実施。学科全体で進める中、学生の個別指導にも力を入れている。新型コロナウイルスの感染が拡大し、学校閉鎖となった際はオンライン補講を行い、知識の定着や不安感の払拭に努めた。

同学科の木村緑准教授は「全員合格は本人や保護者、就職先にとつていいこと。勉強だけでなく、学生の精神面まで包括的に支援できた結果だと考えている」と強調した。

合格した卒業生は今春から、青森県内外の医療機関や自治体で勤務する予定となっている。

八戸市立市民病院に看護師として勤務する市澤孝子さん（22）は「将来は助産師資格を取得し、子どもが健康に育つよう女性に知識を与えていきたい」と目を輝かせた。

（工藤洋平）